
古部 賢一 Ken-ichi Furube, Oboe

東京芸術大学在学中の1991年、弱冠22歳で小澤征爾が音楽監督を務めていた時代の新日本フィルハーモニー交響楽団に首席オーボエ奏者として就任以降、2020年3月まで30年間にわたり大きな功績を残した。同年4月より同団客員首席奏者となる。

1995年から翌年にかけて、ドイツ国立ミュンヘン音楽大学大学院に留学。

イタリア合奏団、ミラノ・スカラ弦楽合奏団、ザルツブルク室内管、N響室内合奏団など国内外の数多くのオーケストラのソリストとして、また、ハンブルク北ドイツ放送響（現・NDRエルプフィル）、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などにも客演首席奏者として招かれるほか、ラ・フォル・ジュルネ TOYKO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、宮崎国際音楽祭、木曽音楽祭などにもソリスト、室内楽奏者として定期的に出演。ピアノの塩谷哲、ギターの渡辺香津美、鈴木大介、箏の野坂恵璃との共演など、ジャンルを超えた活動も展開している。

東京音楽大学准教授、札幌大谷大学芸術学部客員教授、相愛音楽大学非常勤講師。2000年、第10回出光音楽賞受賞。

(令和4年8月現在・転載禁止)